

「新たな地域コミュニティ組織」 について

地域 Ikigai さいき プロジェクト

～地域住民がいきがいを持って、安心して幸せに
住み続けられる街・浦・里の実現～

鶴見地域の取組状況

No.1

鶴見地域では、令和4年度から第2期取組地域として、「新たな地域コミュニティ組織」の必要性について検討しています。これまでの取組状況についてお知らせします。

4月～6月 ステップ1「まずは、地域について話そう！」に先立ち
区長会・地域振興審議会・地区社協・消防団・老人クラブなど各種団体へ概要説明を行いました。



各地区への概要説明については、
5月17日の区長会総会において
「コロナ禍で、地区総会を
書面決議で行っている地区もある中での開催は不要ではないか」との意見があり実施しませんでした。

ステップ1

まずは、地域について話そう！

6月21日(火曜日)・6月23日(木曜日)
「つるみの現状(いま)について話す会」
を開催しました。



「つるみの現状(いま)について話す会」は
第1回を

「地区及び地区社協」から推薦された方、
第2回を

「地域振興審議会・消防団・こども会」等、
各種団体から推薦された方に参加いただき、
少人数のグループに分かれてのワークショップで、
鶴見の「良いところ・困っているところ」、
「個人・地域・組織等でやってみたいこと」
など今後の課題等の意見を出しました。

裏面

「話す会」の内容等

「つるみの現状(いま)について話す会」

グループごとに出された考えや思い等を班長が発表し、賛同する項目に参加者全員による投票を行いました。参加者からは、「時間が足りない」、「困り事や問題点が共有でき有意義だった」、「活性化につながられたら良い」などの感想が寄せられました。

【一部抜粋】

良いところ・困っているところ

- 住んでいる人が優しい
 - 海が豊か
 - 公共施設が整っている
 - 自然環境が良い
 - スポーツが盛ん
 - 魚が美味しい
- ★ ★ ★
- 空家、空地の増加
 - 徒歩圏内に商店がない
 - 子ども、若い人が少ない
 - 後継者不足
 - 伝統行事が継承できない
 - 交通の便が悪い
 - 交流の場がない
 - 役員の担い手がいない



今後の取組

ステップ2

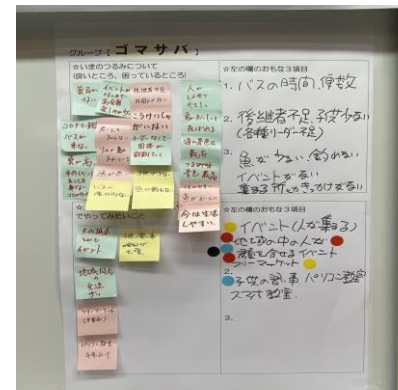
新たな地域コミュニティ組織を考える会



困っていることや課題をうけて個人や仲間、組織でやってみたいこと

- お茶会等の小さな会から付き合いをつくっていく
- 地域の行事に参加しやすい形にする
- 鶴見の海を活かした産業活動
- 地域の困りごとを解決する組織
- 生活支援グループの活動
- 食文化（食育）の磨き上げ
- みんなが参加したくなる、興味のでるような事業、講座
- 自然を活かしたキャンプ場（鶴御崎、廃校）
- イベントの開催（地域の人が集まる、子供が主役、マリンスポーツなど）
- 空家バンクの推進
- 八島の開発
- 地区の祭りの復活
- 小学生ソーランの復活
- 買い物（配食）サービス

グループ内で出された意見等



今回の「話す会」で話した思いやニーズを正しく理解・共有し課題解決に向けた実現方法を考えます。また、「地域コミュニティ」についてアンケート調査も行いますので、ご協力をお願いします。

「新たなコミュニティ組織」についての取組状況については、今後も随時お知らせします。